

ある町の天気相談所

Vol.12
2018.12.7

平成30年12月号



紅葉

11月になり、葉が色づきはじまりました。平和通りのソメイヨシノも、はらはらと葉が落ちていきます。春の花のピンク、夏の葉のみどり、秋の紅葉のあかとあざやかに表情を変えていきます。

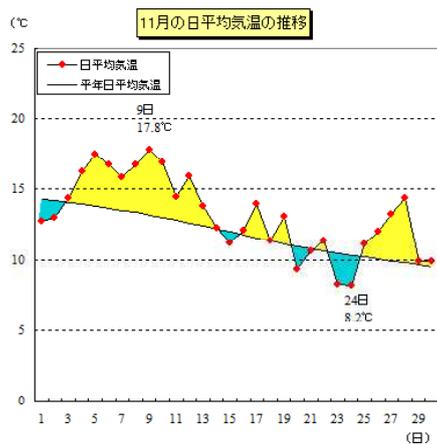


2018年11月20日撮影

11月の気候

11月は、平均気温が13・2度と平年より高くなりました。最高気温、最低気温とも平年より高く、特に最低気温はかなり高く、11月としては5番目に高い気温となりました。日照時間は、160・8時間と、ほぼ平年並みでしたが、降水量は平年よりやや少ない64・5ミリでした。

9月から11月の秋を通した平均気温も17・7度と秋としては過去8番目に高い気温となりました。



1カ月予報 (気象庁発表)

12月は、期間のはじめは気温が低く、その後は平年並みか高くなる見込みです。降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込みです。

天気相談所のあゆみ

天気相談所の歴史5
観測方法1

現在は、目視の観測以外は、全自動で行われていますが、開設当初から平成に入るまでは、職員が決まった時間に温度計などの目盛りを読み取ったり、日記録計の記録紙を読み取り、観測野帳に記録。さらに、計算などを行い、原簿に記載するという作業を行っていました。毎日、雨の日も、雪の日も、台風の時も百葉箱にむかいました。様々な条件の中でも、正確な観測を行うためには、目盛りの読み取りだけでも、経験と技術が必要でした。



測器の値を読み取っている様子

天気に用語の基礎知識

晴れ 曇り

気象庁が15種類に分類している天気のうち、降水等がない場合に使われます。観測時の空全体の雲の量によって決まり、雲量が1以下は「快晴」2以上8以下は「晴れ」、9以上で、上層の雲が多い時は「薄曇り」、中・下層の雲が多い時は「曇り」となります。なお、観測の時は雲の量を、雲がない0から隙間なく覆っている10までと、1より雲が少ない場合と、隙間が少しだけある場合の、2つを加えて13に分けて記録しています。

天気予報という「晴れ」は、「快晴」「晴れ」が予想される場合ですが、実は、「薄曇り」が予想される場合も、「晴れ」と表現されます。

..... 神峰の山から

市役所から眺める山も季節によって色が変わります。今年の秋は気温が高かったせいもあってか、遅れているように感じます。

季節はもどりますが、夏休みの社会科の自由研究の優秀作品の展示が郷土博物館で行われていました。天気相談所を調べた久慈中学校の生徒の作品も優秀賞に選ばれていました。

暖冬傾向の冬でも、寒い日はあります。体調管理にご注意ください。